



〈研究〉再ビ銀行ナル名辭ノ由來ニ就テ(5)

武藤, 長藏

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 27(6):903-914

(Issue Date)

1919-12

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00053129>



再ビ銀行ナル名辭ノ由來ニ就テ (其五)

長崎高等商業學校教授

商學士 武藤 長藏

三、我國ニ輸入サレシ智環啓蒙ト我國ニ於ケル

翻刻及翻案 (ソレ等諸ノ刊行書中ニ現ハレタル銀行

又ハ之ニ代ルベキ名辭ニ就テ)

第二 我國ニ於ケル智環啓蒙ノ翻刻和解及翻案

(4) 鹿兒島藩藏版智環啓蒙本誌(前々號ニ續ク)

本誌前々號掲載拙稿ノ終ニ予ハ鹿兒島藩藏版明治庚午改鑄智環啓蒙ニ所謂改鑄ノ意義ヲ解釋セン
トシテ出版ヲ現ハス各種ノ文字(日本支那ノ外英獨語等)ニ就テ其意義及用法ヲ研究シ特ニ鑄(鑄モ
同一義也)ナル文字ヲ使用スル新鑄重鑄改鑄等ノ實例ヲ探求シ、其結果所謂改鑄ノ眞意義ヲ漸ク理
解シ得ルノ感アリト述べ、先ヅ鑄ノ意義薪鑄重鑄等ノ實例ヲ示シ然後改鑄ノ説明解釋ニ移ルベキ
ヲ約シタレバ、茲ニ之ニ就テ述ベントス。

(第一) 鑄ニ就テ

佩文韻府ノ鑄ノ部分ヲ見ルニ

鑄 子泉切讀也、斷也。

トアリ。雕鑄、金鑄、磨鑄等ノ用語ヲ示セシモ新鑄又ハ改鑄ナル用語ヲ見出サズ。

鑄ハ「セン」ト發音ス、鑄ハ「ノミ」「キル」「キザム」「ホル」「ケヅル」「ウガツ」等ノ意味アリ。即チ切刻也、彫也、削也、等ト説明セル辭書アリ。

文學博士上田萬年、岡田正之、飯島忠夫、榮田猛猪、飯田傳一等共編「大字典」ヲ檢スルニ

改版とは版本をほりなほすこと。

ト説明シ、

改版とは前條に同じ。

ト説明シ居ルノミ。

Herbert A. Giles 氏著 A Chinese-English Dictionary ノ改ノ部ヲ見ルニ、改正、改註、改薄等ノ語ハ掲ゲアレドモ、改訂、改版、改鑄等ノ用語ナシ。版又ハ板ノ部分ヲ檢スルニ、藏板、翻板、官板等ノ用語アレドモ改版又ハ改板ナル用語ヲ示サズ。

Dr. Ernest John Eitel 氏ハ A Chinese-English Dictionary in the Cantonese Dialect 中、鑄(Chien)ナル文字ノ部ヲ檢スルニ、鑄石及鑄ナル用語ヲ示セドモ改鑄ナル語ヲ示サズ。

鑄石 Sun Shek, to cut in stone.

新鑄 San Sün, a new edition.—See tsun.

(A Chinese-English Dictionary in the Cantonese Dialect by Dr. Ernest John Eitel Revised and Enlarged by Immanuel

Cottlet Genthr of the Rheinish Missionary Society (Hongkong, 1911.)

鑄ト鑄トハ同一義也 鑄ナル文字ヲ使用シタル例ハ

文化十年癸酉正月開鑄

南山俗語考附錄長短雜話

ノ如キソレ也

(第二) 新鑄ニ就テ

新鑄ノ實例

明治五年新鑄

袖 字 語 譯 囊

瓊浦 出藍參藏本
新塾活版

又右長崎出版ノ獨和辭書ト同年即チ明治壬申(西曆千八百七十二年)ニ東京ニテ出版ノ蜀和字書モ其扉ニ次ノ如ク印刷サレ居ルヲ見ル

明治壬申仲秋新鑄

和 袖 珍 字 書

東京 學 中 社 藏

附註

右兩辭書ハ本誌大正七年一月號誌上「銀行ナル名辭ノ由來ニ就テ」(其一)中ニ引用シ置ケリ。

崎陽 好樹堂譯

官 許 佛 和 辭 典

明治四年辛未正月新鑄

第二十七卷

(九〇五)

研 究

再々銀行ナル名辭ノ由來ニ就テ

第六號

九七

附註 好樹トハ岡田好樹氏ノ事ナリ。

新鐫ノ例ヲ薩摩版ニ求ムレバ次ノ如シ

嘉永庚戌新鐫筒井家訓點市河三亥書

古文孝經

薩摩府學藏版

明治紀元新鐫

泰清公遺事

薩藩府學藏版

明治五歲新鐫

讀本元明史略 全四冊

鹿兒島縣刊行

慶應丙寅新鐫 栗原信充著

令講義

薩摩府學藏版

新鐫ノ例ヲ長崎、鹿兒島以外他ノ地出版ノ書物ニ就テ其一二ヲ示サバ次ノ如シ。

彩雲堂主人著

和古今泉貨鑑

寛政己酉新鐫 武江書肆羣玉堂

附註

彩雲堂主人トハ龍橋村木昌綱(左門)ノ事ニシテ丹波福知山ノ藩主ニシテ蘭語ニ通シ、安永八年(西曆千七百七十九年)長崎出島關館長(甲比圖)トシテ來任セシ蘭人イザーク、ナチンク(Isaac Titsingh)ト親交アリ、朽木左門(昌綱)ヨリナチンク

ニ送リシ蘭文ノ書簡一通ノ京都帝國大學ニ保存サレ居ルモノハ、長崎縣立圖書館長文學士永山時英氏編「對外史料美術大觀」第壹輯中ニ收録ス。

「彩雲堂主人朽木昌綱ニハ古錢ニ關スル諸種ノ著作アリ増補改正孔方圖鑑、同珍寶孔方鑑、新撰錢譜、西洋錢譜、(ナランダセンフ)等即チ夫也又泰西輿地圖說ノ如キ西洋流ノ古キ地理書トシテ珍重スベキ著作アリ、乍序一言ス。

Isaac Titsinghノ著作ニ就テ Henri Cordier 氏ノ Bibliotheca Japonica 其他ニモ之ヲ示ス。今茲ニ列舉セズ。

亨保乙己新鑄^{翻刻必究}

名物六帖

平安奎文館發行

附註

東涯伊藤長胤著名物六帖「人品鑑」中「金銀行」及「金錢行」首等ノ語アル事ハ前ニ拙稿「銀行ナル名辭ノ由來」(一)及(十)等ニ説明セシ處也。

尙一ツ新鑄ノ實例ヲ舉グレバ、明治五千申新鑄日本橫濱梓行美國平文先生編譯和英語林集成ノ如キモ其一也。

附註

本誌第二十四卷第一號所載拙稿「銀行ナル名辭ノ由來」(一)ニ此辭書ヲ引用シ置ケリ。
平文先生ノ傳トシテハ William Elliot Griffis 氏著 Hepburn of Japan, Philadelphia, 1913. アリ。此辭書ニ就テノ委シキ説明アリ。

尙新鑄ニ就テノ實例ヲ示ス。序ニ説明スベキハ新鑄トセズシテ新鑄トセシ實例アル事是也。

新鑄トセシ例

西洋千八百七十二年

和英通語捷徑

明治五年壬申春新鑄

官許

コハ英文ニテハ

A Japanese and English vocabulary, containing the most familiar words and phrases. Arranged according to the Japanese syllable.

Shanghai

American Presbyterian Mission Press, 1892.

ハアリ。序文ニハ

崎陽 島田胤則 纂輯
顓川泰清

トアリ。又卷末ニハ

足立禮三
家原猶五郎 發兌
崎陽 蒲池從三

ト印ス。右ノ如ク鐫ナル文字ヲ使用スルハ誤ニシテ鐫ト改ムベキモノト信ズ。

サテ新鐫ノ實例ニ就テノ説明及新鐫トセシ實例ノ批評ハ以上ニテ打切り、新鐫ノ意義ニ就テ以下説明セントス。予ノ解釋ニヨレバ新鐫ハ必ズシモ初版又ハ初刻ノ意ニアラズ、初版ニ校正ヲ加ヘタル後新ニ印刷シタル場合ニモ新鐫ト稱スルガ如シ。更ニ一ノ實例ヲ擧ゲテ説明センニ、

西村茂樹 編纂

校 正 萬 國 史 略

明治六年
一月新鐫 編纂者藏版

ニ之ヲ見ル。此西村茂樹氏編纂ノ校正萬國史略ノ例言中ニ曰ク

今茲壬申ノ春余官ヲ辭シテ家居シ、冷眼ヲ以テ熱鬧世界ヲ觀レバ、蠅ノ糞ヲ慕フガ如ク、蟻ノ臭ニ聚ルガ如ク、殊ニ醜トスベキヲ覺フ。長夏無事偶々舊板ヲ閱スレバ謬誤頗ル多シ、因テ再ビ考訂ヲ加ヘ更ニ校正萬國史略ト題シ以テ梓ニ上ス。

元來新鐫ナル用語ハ新刻新彫等ト同ジク又新版ト同一義ナリト見ルヲ得レドモ、必ズシモ初版第一版ノ意ニアラザル事、恰モ英語ノ New Edition 又ハ New Impression ガ必ズシモ第一版、初版 (First Edition) ニアラザルガ如シ。

英語ニ所謂 New Edition トハ、數版ヲ重ネタル後改訂ヲ加ヘ新ニ印刷出版スル場合ニカク呼ブ事アリ。其改訂ハ原著者自身ナル事アリ、或ハ著者ノ死後ソノ遺族友人弟子等ニヨリ行ハル、事アリ、而シテ其改訂版ヲ新版 (New Edition) ト稱ヘ、又ハ新改訂版 (New and Revised Edition) ト呼ブ。此種ノ所謂 New Edition 又ハ New and Revised Edition ノ例ハ極メテ多シ。一ニ示サバ Walter Bagehot (1826—1877) ノ著書 Lombart Street ハ彼ノ死 (1877) 後 Bagehot 夫人ガ千九百〇六年ノ第十二版ノ序文ニ記セシ如ク、其 Notes ノ部分ニ新ナル數字等ヲ加ヘ補正サレシ事アレド、最近千九百十五年ニ Hartley Withers ノ序文 (Introduction) ヲ添ヘタル所謂新版ヲ出セリ。

附註 千九百十五年倫敦出版ノ The Lombart Street Library Vol. I. Lombart Street. ノ外ニ The Works and Life of Walter Bagehot Edited by Mrs. Russell Barrington Vol. I. 參照。

故 George Rae ノ著書 The Country Banker ハ千九百十八年倫敦出版ノ New and Revised Edition アリ。John Stuart Mill ノ自叙傳 (Autobiography) ハ千九〇八年ニ Longmans, Green, and Co. ヨリ新版 (New Edition) ヲ出セリ。サレドコハ前ニ掲ゲタル例ノ如ク内容ヲ改訂シテ新版ト稱ヘタルニアラズ。内容ニ變化ナク印刷上ニ新ナル版ヲ出セシ事ヲ意味シ、カ、ル意味ニテモコノ新版 (New

Edition) ナル語ハ用ヒラル、事アリト予ハ解釋スルモノ也。

(第三) 新刻ニ就テ

新刻ハ文字ノ意義ヨリシテ新鐫又ハ新彫ト同一義也ト解釋スル事ヲ得ベシ。

新刻ノ實例

福地尙甫即チ長崎人福地源一郎氏譯外國事務ハ其一例ナリ。即チ左ノ如シ。

明治元年 新刻

外國事務

松莊館藏版

コ、ニ新刻トハ初刻ノ意也。

サレド新刻ハ初刻ヲ意味セズシテ、既ニ出版サレシモノヲ改メテ新ニ刻リシモノヲ意味スト解スベキ場合アル事ハ、恰モ新鐫ナル語ガ初版初刻ヲ意味スル場合ノ外ニ、改メテ新ナル版ヲ出シタル場合ニ新鐫ナル語ヲ用フト同様ナルベシ。

第四) 新雕ニ就テ

新雕ハ前述ノ新鐫新刻等ト同一義ナルベシ。其實例ヲ示サバ次ノ如シ。

薩陽 足立梅景編述

英吉利文典字類

伊月邨舍藏梓

慶應二丙寅中春新雕

第五) 新刊ニ就テ

新鑄ハ其實例多ク新刻新雕等モ其意義新鑄ト同シク其例モ前ニ示セシ處ノ如シ。出版ヲ現ハス形式トシテ「新刊」ナル用語ニ就テハ予ノ見タル例ハ次ニ掲ケル處ノ如シ。一般ニ「新刊書物」ナル用語ノ廣ク行ハル、事ハ云フマデモナケレド、ソレトコレトハ其用語ヲ異ニスルハ勿論也。

阿波藩ニテ支那譯書ヲ翻刻セシモノニ

徐繼畬著 井上春澤
森秋園訓點

三守柳園

瀛環志略

阿陽 對嶋閣藏梓

刊新秋仲酉辛久文

附註

「瀛環志略」Yin hwan ché lüé by Sen Kéyu, the governor of Fuh-Keen 付就テ、Memorials of Protestant Missionaries to the Chinese giving a list of their publications and Obituary Notices of the Deceased with Copious Indexes. Shanghai, American Presbyterian Mission Press, 1867. ニモ其百六十八頁ニ説明アリ。

(第六) 重鑄ニ就テ

重鑄ト稱スル例

耶穌降世一千八百六十八年

張遠兩友相論

歲次戊辰 上海美華書館重鑄京譯

コノ重鑄トハ重刻ト同様ノ意味ニテ使用サレ、彼ノ明治庚午改鑄智環啓蒙ニ所謂改鑄トハ同一義

ニアラズ。

附註

Memorials of Protestant Missionaries to the Chinese, Shanghai 1867. ニ記スル處ニハ、此張遠爾友相論 Chang yuen liang yê Sêng Jim. Dialogues between Chang and Yuen, 20 leaves. Malacca, 1819. Chang is a worshipper of the true God, and Yuen is his heathen neighbour 上海版ニ就テハ、An edition of the same was printed, at Shanghai, in 1849. ト記スレドモ、此千八百六十八年版ニ就テハ記スル處ナシ。蓋シ此 Memorials of Protestant Missionaries to the Chinese. ハ上海ニテ千八百六十八年ニ出版サレシモノナレバ也。

(第七) 改鑄ニ就テ

予ハ鹿兒島藩藏版明治庚午改鑄智環啓蒙ニ就テ研究中、本年八月八日當地一古道具屋店頭ニ發見シタル

安政改鑄 文章軌範纂評

ニ據リ改鑄ノ意義ヲ攻究セントス。此文章軌範纂評ニ就テハ佐村八郎氏著増訂國書解題ヲ見ルニ

ぶんしやうきはんさんびやう

文章軌範纂評六卷 安藤秉

謝疊山ノ「文章軌範」ニ纂評ヲ加ヘタルモノナリ。

ト記スルノミニテ、此書ノ出版ノ年ヲ示サズ。又予ガ今回當地ニテ發見シタル此書ニ即チ安政改鑄文章軌範纂評ノ扉ニハ次ノ如ク印刷サレ居ルヲ見ル。

謝疊山先生著

文章軌範纂評

京阪六書房

製本之記

安政戊午歲發梓

コノ文章軌範纂評ニハ序文アリ。安政丁巳榴月(榴月トハ舊曆五月ナリ)安積秉ノ書キシモノ也。又編纂者安藤秉ノ凡例アリ、嘉永六年癸丑仲春月ニ書カレシモノ也。序文ノ一節ニ曰ク

余所閱元板韓板明戴許光校本雖有小同異皆仍文節之舊其中有祇有圈點而無評註者……往年郵示徵序余老懶加以世事卒々未暇起稿頃又寄書督促孔艱故撥欠訖筆以應責云

安政丁巳榴月

昌平學教官

安積

信撰

次ニ此書ノ編纂者安藤秉ノ凡例中此稿ニ必要ナル數節ヲ引用スレバ次ノ如シ。
文章章軌範纂評凡例

一疊山先生有此編蓋以爲舉業之資乃宜若無所資於我邦學人然要皆文宗傑作其裨益何唯舉業故此間翻刻增註行于世但其多經年所
有漫漶難讀者故今改梓以藏家塾

一評體除疊山外皆係清人但其標上閣者雜以邦人坊本所載宋明人及祖徠春臺評今皆刪去非論其佳否也選陳就新耳
一圈點批一從官板中間有斷章實句者今皆補之亦不敢補其圈點批

嘉永六年癸丑仲春月

浪華秋里居士

安藤

秉識

右引用セシ處ニヨレバ、「安政改鐫文章軌範纂評」ハ嘉永六年癸丑(西曆千八百五十三年)ニ其編纂者安藤秉氏ニヨリ其凡例ガ書カレ居ルニ拘ラズ安積秉ノ序文ハ安政丁巳(安政四年即チ西曆千八百五十七年)即チ約四年後ニ漸ク書カレタル也。前ニ引用セシ序文中

往年郵示徵序余老懶加以世事卒々未暇起稿……

トアルヲ見レバ、四年間モ序文ヲ書ク事ヲ怠レルヲ想像スルヲ得、而シテ前ニ掲ゲタル此書ノ扉ニ示ス如ク

安政戊午歲發梓

トアル故安政戊午即チ安政五(西曆千八百五十八年)ニ此書ハ京阪ノ六書房ニテ出版サレタリ。且又此安政戊午歲即チ安政五年出版ノモノヲ「安政改鐫文章軌範纂評」ト表紙ニ記セリ。

然ラバ此書ニ所謂安政改鑄トハ安政年間ニ改板(版)ヲ出シ、其前ニ初版初刻第一板ヲ京阪ノ六書房ガ出版セシニアラズ。

京阪ノ六書房ニテハ安藤秉ガ編纂セシ文章軌範纂評ヲ安政戊午歲(安政五年)ニ初メテ出版セシ也。ソレヲ初板(版)初刻(第一板)新刻、新鑄等稱セズシテ最初ヨリ安政改鑄ト呼ビシ也。其理由ハ編纂者安藤秉ノ書キシ凡例ニ之ヲ説明セリ。即チ凡例ノ一節ニ

坊本所載宋明人及徂徠春臺評今皆刪去非論其佳否也。避陳就新耳。圈點批從官板中間有斷章省句者今皆補之亦不敢補其圈點批トアルヲ參照スベキ也。

(第八) 鹿兒島藩藏版明治庚午改鑄智環啓蒙ニ就テ予ノ解釋斷案

以上引用セシ「安政改鑄文章軌範纂評」ノ實例ニ鑑ミ、予ハ鹿兒島藩藏版明治庚午改鑄智環啓蒙ハ明治庚午ノ年即チ明治三年ニ初メテ出版サレシモノニシテ、其以前ニ出版サレシニアラズト予ハ解釋シ斷案ヲ下スモノ也。家兄武藤長平ガ解釋セシ如ク明治庚午ノ年以前ニ第一版ヲ出セシモノニアラザルベシ。

予ハ本年十月鹿兒島ニ赴キタルノ際、此書ニ就テモ種々探求スル處アリシガ、右解釋斷案ノ當レルヲ愈々深ク信ズルニ至レリ。又予ハ鹿兒島ノ一古本屋ニテ鹿兒島藩藏版明治庚午改鑄智環啓蒙ヲ今度發見セリ。鹿兒島縣立圖書館所藏本ニ同ジ。コレ亦間接ニ予ノ說ヲ確ムル一助トナレリ。

聞クガ如クンバ此明治庚午ノ年ニ出版サレシ鹿兒島藩藏版智環啓蒙ハ、當時鹿兒島ノ小學校ニテ教科用書ニ採用サレ居リシト云フ。然ラバ其中ニ見エタル Bank note ノ譯語タル銀行錢票ナル語ハ當時鹿兒島ノ小學生ガ誦讀セシ處ナリ。コレ銀行ナル名辭ノ由來ヲ研究スル吾人ノ看過スベカラザル重要ナル事實ニアラズヤ。(未完)